

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 12 日

上場会社名 横河電機株式会社

（コード番号：6841 東証第 1 部）

（URL <http://www.yokogawa.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役 内田 勲
責任者役職・氏名 広報・IR 室長 岡部 正俊

TEL：(0422) 52 - 5530

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における有（法人税等の計上基準などについて一部簡便的な方法を採用しております。）
認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 有

連結(新規) 2 社（除外）4 社 持分法(新規) 0 社（除外）2 社

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	67,749	15.2	2,091		2,047		3,447	
15 年 3 月期第 1 四半期	58,800		7,400		7,700		1,600	
(参考)15 年 3 月期	328,766		1,561		1,233		26,232	

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	14.19	
15 年 3 月期第 1 四半期	6.60	
(参考)15 年 3 月期	108.39	

(注)1.売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年度第 1 四半期比増減率を示しております。

2.平成 15 年 3 月期第 1 四半期は概算による参考値です。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における当社グループの売上高は 677 億円と、前年同期に比べて 89 億円（15.2%）の増加となりました。営業利益および経常利益については、ともに 20 億円の損失計上となりましたが、前年同期に比べて、営業利益では 53 億円、経常利益では 56 億円と大幅に改善する結果となりました。具体的には、半導体関連市場が回復途上にある中で、携帯電話向け半導体が活況であったことを受け、半導体テストビジネスで受注、売上を大きく伸ばすと同時に、生産コスト改善の効果が現れてきていること、また、通信測定器ビジネスでは、市況は未だ回復せず厳しい状況にありますが、昨年度に実施した安藤電気株式会社の事業構造改革に伴うコスト改善効果が現れてきていることなどによるものです。また、制御ビジネスについては、国内市場での設備投資が依然として低迷を続けていますが、海外市場では投資意欲も旺盛で活発な状況で推移したことから、制御ビジネス全体では、売上、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

なお、前年同期の当期純利益には、横河ジョンソンコントロールズ株式会社等の投資有価証券売却益 69 億円を計上しています。また、当社グループの売上高は中間期末と年度末に集中する傾向が強いため、第 1 四半期と第 3 四半期の通期売上高に対する売上高比率は低くなっています。

（平成 15 年度 3 月期 第 1 四半期の売上高は 588 億円、営業利益は 74 億円、第 2 四半期の売上高は 963 億円、営業利益は 47 億円です。）

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	351,472	129,184	36.8	531.64
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	364,730	131,784	36.1	542.20

(注)前年第1四半期の実績は算出しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状況は、前年度末（平成15年3月期末）との比較において、以下のとおりとなりました。

総資産は、売上債権を223億円圧縮しましたが、棚卸資産が前年度末に比べ165億円増加したことにより、3,514億円と132億円の減少にとどまりました。負債は、短期借入金を前年度末に比べ122億円返済したこと等により110億円減少し、2,189億円となりました。株主資本は、第1四半期における損失等により26億円減少し、1,291億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前年度末に比べ0.7ポイント改善し36.8%、有利子負債株主資本比率は8.1ポイント改善し、74.4%となっております。

なお、当社は、中間期末及び年度末に売上が増加する傾向にあるため、売上債権残高は第1四半期において年度末に比べ減少する傾向にあります。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

中間期、通期とも平成15年5月13日に公表した予想は変更ありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	170,000	1,000	3,000
通期	365,000	7,000	2,000

(注)本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上

〔添付資料〕 四半期連結(要約)財務諸表等

(1)四半期連結(要約)損益計算書

区分	当第1四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
売上高	67,749	100.0	328,766	100.0
売上原価	43,629	64.4	218,989	66.6
売上総利益	24,119	35.6	109,777	33.4
販売費及び一般管理費	26,211	38.7	108,215	32.9
営業利益又は営業損失	2,091	3.1	1,561	0.5
営業外収益	620	0.9	3,880	1.1
営業外費用	576	0.8	6,675	2.0
経常損失	2,047	3.0	1,233	0.4
特別利益	147	0.2	11,929	3.6
特別損失	1,174	1.7	30,312	9.2
税金等調整前当期純損失	3,074	4.5	19,617	6.0
法人税等	323	0.5	6,247	1.9
少数株主利益(控除)	49	0.1	367	0.1
当期純損失	3,447	5.1	26,232	8.0

(2)四半期連結(要約)貸借対照表

区分	当第1四半期 (平成15年6月30日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	38,857		48,242	
受取手形及び売掛金	80,371		102,766	
棚卸資産	59,772		43,236	
その他	20,589		18,385	
流動資産合計	199,590	56.8	212,630	58.3
固定資産				
有形固定資産	74,570		74,722	
無形固定資産	11,741		12,685	
投資その他の資産	65,570		64,692	
固定資産合計	151,882	43.2	152,100	41.7
資産合計	351,472	100.0	364,730	100.0
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	28,147		32,484	
短期借入金	29,027		41,238	
その他	69,865		63,933	
流動負債合計	127,041	36.1	137,655	37.8
固定負債				
社債	20,000		20,000	
長期借入金	27,046		27,436	
退職給付引当金	40,073		40,248	
その他	4,797		4,711	
固定負債合計	91,917	26.2	92,397	25.3
負債合計	218,958	62.3	230,053	63.1
(少数株主持分)				
少数株主持分	3,329	0.9	2,893	0.8
(資本の部)				
資本金	32,306	9.2	32,306	8.8
資本剰余金	35,255	10.0	35,255	9.7
利益剰余金	72,623	20.7	76,777	21.0
その他有価証券評価差額金	1,780	0.5	977	0.3
為替換算調整勘定	4,795	1.3	5,562	1.5
自己株式	7,985	2.3	7,968	2.2
資本合計	129,184	36.8	131,784	36.1
負債、少数株主持分及び資本合計	351,472	100.0	364,730	100.0